

特定非営利活動法人

建築設備コミッショニング協会

(Building Services Commissioning Association)

第 17 期通常総会資料

【1】法人の概要

【2】議事資料

第 1 号議案「第 17 期事業報告及び収支決算に関する事項」

第 2 号議案「第 18 期事業計画(案)及び予算(案)に関する事項」

【3】報告事項

日 時：2021 年 5 月 28 日（金）13:30～

場 所：大阪市住之江区南港北 2-1-10ATC/ITM 棟 会議室

(同時 Web 配信)



特定非営利活動法人
建築設備コミッショニング協会

【1】法人の概要

名称：特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会
(Building Services Commissioning Association, BSCA)

設立日(設立総会) : 2004年3月19日
法人成立(内閣府) : 2004年8月9日
法人登記完了 : 2004年8月25日
名古屋事務所登記 : 2004年9月1日
事務所登記変更
従たる事務所設置
東京 : 2007年6月26日
京都 : 2007年6月26日
主たる事務所移転 : 2007年6月28日
従たる事務所移転
兵庫 : 2010年5月19日
主たる事務所移転 : 2013年5月15日
従たる事務所廃止 : 2013年5月15日
主たる事務所移転 : 2015年7月7日

役員

理事長 吉田治典
副理事長 赤司泰義、柳原隆司
理事 伊藤英明、大石晶彦、上谷勝洋、小林陽一、澤地孝男、
田井公浩、田上賢一、西山満、松下直幹
監事 高瀬知章、高橋直樹

会員数(2021年3月31日現在)

個人正会員 213名
賛助会員 39団体 (内 大学 6校)、特別会員 6名

委員会組織

- ・企画・運営委員会：協会運営、普及啓発戦略立案、講演会・シンポジウムの企画、
広報活動、会員増強
- ・認証検討委員会及び資格判定委員会：認証制度検討、資格制度検討、資格研修会・講習会運営、
資格認定、資格登録
- ・事業委員会：研究調査、先導的コミッショニング事業受託、Cx費用ガイドライン検討
- ・技術委員会：技術支援、コミッショニングプロセス・ツール研究

賛助会員一覧 (2021年3月31日現在)

財団法人

ヒートポンプ・蓄熱センター

企業

アズビル、エネゲート、エム・ティー・ディー、大阪ガス、大林組、関西電力、
関電エネルギーソリューション、九電工、きんでん、きんでんスピネット、三機工業、
三建設備工業、三晃空調、JR 東日本ビルテック、新菱冷熱工業、ソーワエンジニアリング、
ダイキン工業、大成建設、ダイダン、高砂熱学工業、中部電力ミライズ、東京ガス、
東京電力エナジーパートナー、東京都市サービス、東邦ガス、日建設計総合研究所、日本設計、
日本ファシリティ・ソリューション、三菱地所設計、三菱重工サーマルシステムズ、森村設計
(五十音順)

大学

京都大学、東京大学、名古屋大学、中部大学、立命館大学、神戸大学(入会順)

官公庁

神奈川県立近代美術館

【2】議事資料

第1号議案「第17期事業報告及び収支決算に関する事項」

2020年度事業報告（2020年4月1日から2021年3月31日まで）

1. 事業の成果

昨年度は、2月から世界で蔓延しだした新型コロナウイルス感染症によるパンデミックのため、WEBによるシンポジウムや講習会を併用して活動の継続維持と活性化に努力しなくてはならない一年となった。

人材育成事業として、性能検証技術者(CxPE)の資格研修会については、一昨年度は試験のあり方についての検討やCxマニュアルの訂正作業の必要性から休止したが昨年度は12月に大阪で開催した。受講者は7名で試験を経て全員が合格し、現在、CxPEの総計は102人となった。性能検証専門技術者(CxTE)の講習会は本年1月に東京でWEB開催して参加者を全国から募った。その結果、会員外の受講者も含めて合計20名が受講して、該当者にはCxTEの講習修了証を授与した。なお、CxTEの技術者登録制度には昨年度5名増え、現在59名が登録している。コミッショニングを業務として実施する組織(CxF: Commissioning Firm)の登録制度には、昨年より1社減り現在7社が登録している。コミッショニングの事例シンポジウム「コミッショニングの推進を目指して - 2020年度BSCAシンポジウム in 関西」を12月に大阪で開催し66名が参加した。昨年度末には「国際シンポジウム」を東京で開催予定であったが、コロナ禍のため延期し本年5月の開催とした。また、総会付帯講演会、技術交流会、Cxに関心を持つ者の集いなどもコロナ禍のため中止せざるを得なかった。

性能検証普及事業として、広報活動である会員への情報伝達については、例年通りコミッショニングレターを月1回発行した。例年実施していた空気調和・衛生工学会大会の展示ブースへの出展は、大会が現地開催されなかったため中止した。ビルオーナーへのコミッショニング普及活動の一環として、銀座・ビルエネルギー研究会の会員に対して、コミッショニングの概要や事例を紹介するプレゼン(WEB形式)とアンケートを実施した。ホームページに関して、次年度に実施予定のホームページ構成の改変、会員メリットの明確化などについて予備検討をした。企画・運営委員会をWEBで年5回開催し事業を継続した。

調査研究・技術支援事業としては、継続して、空気調和・衛生工学会のコミッショニング委員会と連携しコミッショニング技術の整備に貢献した。海外のコミッショニング組織(HKBCxC(香港)、中国など)と本年5月開催の国際シンポジウムの準備を行った。国際エネルギー機関(IEA)の研究活動IEA/EBC Annex81に、当協会から委員を派遣して研究参画をした。

基準制定・検証事業として、建築設備コミッショニングマニュアルの軽微な修正を行い改訂第4版の発刊を行った。検証事業を社会に定着させるための先導的なコミッショニング事業として受託した京都駅ビルの熱源・空調システム改修工事の一連のコミッショニングは、米国暖房空調学会(ASHRAE)のFirst Place Technology Awardを受賞した。先導的Cx事業として、一昨年度より継続している東急電鉄田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッショニング(実施設計フェーズ)は、コロナ禍による事業の遅れから契約を延長した。年度初めに受託したOCATビル熱源・空調設備更新工事に伴うコミッショニング調査・基本設計フェーズは、発注者の都合により中断となった。また、Cx業務報酬の目安を明確化する目的で、CxPE資格者、CxF企業、建物オーナーなどにアンケートを実施した。

共催・協賛事業として、「VWV及びVAV制御の省エネルギー効果に関する新たな評価方法案に関するシンポジウム」を一般財団法人建築環境・省エネルギー機構(IBEK)との共催で本年3月にWEB開催し、103名の参加者を得た。今後はIBEKとの共催事業として毎年継続してゆく予定である。

事務局 WG では、引き続き事務局体制の整備を行い、事務処理を順次マニュアル化して事務作業の基盤整備と合理化を継続して進めた。東京と大阪で Web 会議を実施し、業務の合理化を進めた。

2. 事業実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(1) 人材育成事業	セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業				会員、市民、建築関係者	
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。					
	a)	CxPE 資格研修会	2020/12/18~19	大阪	7名	7名
	b)	CxTE 講習（全国）	2021/1/29	東京	4名	20名
	c)	認証検討委員会及び資格判定委員会活動	2020/4~2021/3	BSCA 事務所他	10名	—
	d)	国際シンポジウム	2021/5/22 に延期	東京	—	—
	e)	Cx 事例シンポジウム・Cx 研究会	2020/12/3 中止	大阪 名古屋	10名 —	80名 —
	f)	Cx マニュアル（CD）の頒布	2020/4~2021/3	BSCA 事務所	3名	7名
	g)	総会付帯講演会	中止		—	—
	h)	技術交流会	中止		—	—
i)	Cx に関心を持つ者の集い	中止		—	—	
(2) 性能検証普及事業	会誌・ホームページ等による性能検証普及事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。					
	a)	ホームページの整備充実	2020/4~2021/3	事務局	4名	約1000名
	b)	コミッションングレターの発行	2020/4~2021/3	事務局	7名	—
	c)	空気調和・衛生工学会大会ブース出展	中止	—	—	—
d)	企画・運営委員会活動	2020/4~2021/3	BSCA 事務所他	23名	—	
(3) 調査研究・技術支援事業	性能検証に関する調査研究及び技術支援事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。公共的機関より性能検証、コミッションング過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。					
	a)	海外調査・国際交流	2020/4~2021/3	BSCA 事務所他	1名	同上
	b)	技術委員会活動	2020/4~2021/3	東京	5名	建築関係者
c)	他団体との協働参画	2020/4~2021/3	東京	4名	建築関係者	

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数		
(4) 基準制定・検証事業	性能検証基準の制定及び性能検証事業				12名	会員、市民、建築関係者、不特定	
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。						
	a)	建築設備コミショニングマニュアル改訂WG	2020/4 ～2021/3	東京、関西			
	b)	OCAT 熱源設備改修工事コミショニング業務（調査・基本設計フェーズ）	2020/4 ～2020/12/25	大阪・OCAT ビル他			5名
	c)	田園都市線駒沢大学駅リニューアル工事（実施設計）に伴う空調設備コミショニング業務	2020/4 ～2021/3	東京・東急事務所他			6名
d)	事業委員会活動	2020/4 ～2021/3	BSCA 事務所他	12名			
(5) 共催・協賛事業	他団体への共催、後援、協賛事業によりコミショニングの普及を目指す。				103名	会員、市民、建築関係者、不特定	
	a)	IBEC VWV 及び VAV 制御の省エネルギー効果に関する新たな評価方法案に関するシンポジウム共催	2021/3/18	ZOOM 配信			

3. 事業の概要

(1) 人材育成事業

a) CxPE（性能検証技術者）資格研修会

CxPE 資格研修会を 2020 年 12 月 18 日～19 日に大阪にて開催した。一年ぶりの開催として計画している中、新型コロナウイルス蔓延により開催が危惧されたが、感染症対策を十分にとることで開催し、7 名の受講者が参加した。すべての受講者を修了試験にて合格と判定した。新規受講者 7 名が登録、CxPE 登録者は総計 102 名となる。

b) CxTE（性能検証専門技術者）講習（全国）

第 9 回目となる CxTE（性能検証専門技術者）講習会を、今年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から関西と東京で計画していた予定を変更し、2021 年 1 月 29 日に WEB オンライン講習として開催した。WEB 開催としたことで、遠方からの受講も可能となって 20 名が参加した。受講状況を確認の上で、受講者全員に講習修了証を授与した。

c) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

1) 認証検討委員会

今年度の CxTE（性能検証専門技術者）登録制度における新たな登録者は 5 名、退会者の減を含めて、総計 59 名が現在の登録者数となった。

2) 資格判定委員会

- ・ CxPE 資格研修会で使用する試験問題を決定し、資料の作成を行なった。
- ・ 研修会終了後は、CxPE 資格研修小委員会を開催し、採点を行なった。
- ・ CxPE については、2021 年 3 月に外部委員を交えた資格判定委員会を開催し、2020 年度の CxPE の合否判定を行った。

d) 国際シンポジウム

新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑みて、開催を次年度 5 月に延期することとした。

e) Cx シンポジウム “コミショニングの推進を目指して” の開催

2020 年 12 月 3 日に、大阪大学中之島センター・佐治敬三メモリアルホールにおいて、「コミショニングの推進を目指して」と題して、コミショニング事例を紹介するシンポジウムを開催した。コロナ禍で人数を制限しての開催であったが、満席 66 名の参加となった。

シンポジウムでは、広島大学の金田一清香先生より「地方から考えるこれからの建築の環境づくり～子どもたちに残したいこと～」というテーマで基調講演を行い、京都駅ビル開発の高浦敬之氏が「コミショニングの主流化に向けて」と題して、省エネ大賞はじめ多くの賞を受賞した京都駅ビル熱源・空調改修工事の Cx プロジェクトにおける発注者としての経験を通じて、Cx がなぜ必要で、今後 Cx が主流化するためには何が必要かについて講演を行った。

発表された Cx プロジェクト事例は、「東急電鉄地下駅空調設備改修工事 Cx プロジェクト」、「立命館慶祥中学校・高等学校熱源空調改修工事 Cx プロジェクト」、「二子玉川高島屋既存 Cx プロジェクト」の 3 件であった。それぞれ最初に、プロジェクトを推進する Cx 管理チーム (CMT) の代表者がプロジェクトの概要説明をし、その後、発注者（建物オーナー）をはじめ、設計者、施工者、ビル管理者らがそれぞれの立場から感じられた Cx の効用や期待感などを語った。

f) Cx マニュアル (CD) の頒布

新マニュアルは改訂後の合計で 7 部頒布した。

g) 総会付帯行事を兼ねた講演会 (大阪)

東京大学 山上会館において、通常総会後に講演会を企画したが、新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑みて開催を中止することとなった。企画した講演は、Cx シンポジウムで行った。

h) 技術交流会

新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑みて、開催を中止することとなった。

i) Cx に関心を持つ者の集い

新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑みて、開催を中止することとなった。

(2) 性能検証普及事業(企画・運営委員会)

a) ホームページの整備充実

一般閲覧者の増大を目指して、現在のホームページの改良点等を協議し、コンテンツの拡充並びにホームページ構成の変更に関する検討を行った。また、一般閲覧者と会員との情報提供範囲を明確にし、会員メリットが判りやすいホームページとする方法の検討を行った。

b) コミッショニングレターの発行

コミッショニング関連の情報・動向を記事とした機関誌「コミッショニングレター」の発行を毎月行った。

c) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑みて、開催を中止することとなった。

d) 企画・運営委員会活動

委員会を年 5 回開催し、下記活動の実施内容について審議してそれぞれの活動に繋げた。

1) 会員特典の整備

2) CxTE 登録者の促進と CxF の登録の促進

3) 各種団体へのコミッショニングの普及活動

- ・ オーナーサイドへのコミッショニング普及活動の一環として、銀座・ビルエネルギー 研究会の会員に対して、コミッショニング概要や事例を紹介するプレゼン (WEB 形式) とアンケートを実施した。
- ・ 講習会やセミナーを企画して、コミッショニングの普及活動を実施した。

(3) 調査研究・技術支援事業

a) 海外調査・国際交流

海外のコミッショニング組織（HKBCxC(香港)、中国など）との連携活動を検討した。新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑みて開催を中止となった国際シンポジウムの準備を行った。

国際エネルギー機関（IEA）の研究活動、IEA/EBC Annex81「Data-Driven Smart Building（データ駆動型スマートビルディング）」の日本委員会（委員長：東京大学・赤司泰義教授、当協会副理事長）に、当協会から委員を派遣して研究参画をした。

b) 技術委員会

空気調和・衛生工学会のコミッショニング委員会に新たに設置される小委員会の技術課題に対して、協調・連携してコミッショニングの普及展開に必要な技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し公開した。Cxに関する日中共同研究について、中国のカウンターパートと議論し、企画立案を進めた。

c) 他団体との協働参画

2018年から、国立研究開発法人建築研究所（建研）、一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構（IBEC）が企画・運営する「住宅・建築分野の省エネ・省 CO2・環境技術体系確立を目指す研究開発プロジェクト初期調整委員会（略称：初期調整委員会）」が行われている。本委員会では、業務用建築物の省エネルギーをより確実なものにするため、コミッショニング手法を適用した新たな評価手法の検討を進めている。当協会は建研・IBECからの協力要請により、委員長として吉田理事長、他委員として3名（柳原副理事長、赤司副理事長、松下理事）が参画した。

(4) 基準制定・検証事業

a) 建築設備コミッショニングマニュアル改訂 WG

2016年度に発行した「建築設備コミッショニングマニュアル」について文法ミスなど軽微な修正を行う簡易改訂を実施し、改訂第4版の冊子販売を行った。

b) OCAT ビル熱源・空調設備更新工事に伴うコミッショニング調査・基本設計フェーズ

- ・ 委託機関：（株）湊町開発センター
- ・ 事業実施：2020年4月～2021年3月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、松下直幹（幹事）、柳原隆司、山本雄二、西山 満

複合商業施設である大阪シティーターミナル（略称：OCAT）ビルは1996年のJR難波駅地下化と同時に開業した交通結節点機能を有するビルであるが、将来を展望すると、2031年春にはうめきた（大阪）地下駅、新大阪駅に直結するなにお筋線の開業が予定されており、ビルのポテンシャルは飛躍的に向上することが期待されている。将来のポテンシャルを達成するうえで、地球環境・都市環境にも配慮したスマートなエネルギー利用が実現できる熱源設備への改修を目的とした先導的なコミッショニング業務を受託として2020年4月に受託した。しかし、発注者の都合により2020年11月に中断となり、ここまでの業務で清算を行い終了した。

c) 田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッショニング（実施設計フェーズ）

- ・ 委託機関：東急電鉄（株）
- ・ 事業実施：2020年4月～2021年6月（2021年3月から6月に延伸）
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、松下直幹（幹事）、柳原隆司、山本雄二、西山 満、岡 敦郎

田園都市線駒沢大学駅リニューアル工事の基本計画を踏まえて、過年度の調査結果及び基本設計フェーズで作成した基本設計図書をもとに、実施設計のコミッショニング業務を実施したが、コロナ禍のため事業が遅延したため契約期間を本年6月まで延長し、昨年度は実施設計のレビュー作業途中まで終了した。また、施設保全業務の効率化と設備の省エネ運用を図るため、駒沢大学駅リニューアル工事の実施設計と並行して、他駅も含めた複数駅の建築設備を一元的に管理する建築設備全駅統括管理システム（仮称）の企画設計のコミッショニングも本契約に含まれているが、これもコロナ禍のため同様の状況となり、実施設計の OPR 原案の作成までを行った。

g) 事業委員会

新規の先導的コミッショニング事業対応のための事前打合せ、調査を実施した。

h) Cx 費用ガイドライン検討 WG

Cx の普及促進を図るためには Cx 業務報酬の目安を明確化することが必要と考え、CxPE 資格者、CxF 企業、建物オーナーを対象に Cx 業務に関する工数に関するアンケートを実施した。今後、結果をホームページにて公開する予定である。

(5) 共催・協賛事業

a) 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構（IBEC） 共催

VWV 及び VAV 制御の省エネルギー効果に関する 新たな評価方法案に関するシンポジウム

(3) c) にて活動した内容について、これまでの3年間の初期調整委員会で作成した成果物をもとに表記のシンポジウムを IBEC との共催で本年3月に WEB 開催し、103名の参加者を得た。質疑応答やアンケート結果からは、前向きな評価と期待が得られた。コミッショニング手法の適用の一環としてコミッショニングビジネスの拡大に繋がることが期待されるため、今後は IBEC との共催事業として毎年継続してゆく予定である。

(6) 理事会

理事会を7回開催し、総会付議事項、Cx マニュアル改訂、CxPE 研修会開催、プロジェクト受託事業の契約解除等を審議し決定した。また、コミッショニング賞創設についての意見交換を行った。

4. 会計収支決算

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

2020年度正味財産増減計算書

建築設備コミッションング協会

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位：円)

科目	2020年度	2020年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
I 経常収益				
1 受取会費				
入会金収入	25,000	50,000	-25,000	
正会員受取会費	2,060,000	2,200,000	-140,000	
賛助会員受取会費	5,600,000	5,800,000	-200,000	
小計	7,685,000	8,050,000	-365,000	
2 受取寄附金				
受取寄附金	0	0	0	
小計	0	0	0	
3 受取助成金等				
受取民間助成金	0	0	0	
小計	0	0	0	
4 事業収益				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	470,000	560,000	-90,000	
CxTE研修会(東京・WEB)	205,000	365,000	-160,000	
CxTE研修会(名古屋)	0	0	0	
CxTE研修会(大阪)	0	377,000	-377,000	
Cx事例シンポジウム(東京)	0	0	0	
Cx事例シンポジウム(大阪)	64,000	600,000	-536,000	
国際Cxシンポジウム(京都)	0	0	0	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	0	2,215,000	-2,215,000	
Cx事例シンポジウム(中部)	0	10,000	-10,000	
マニュアルの頒布	147,400	200,000	-52,600	
技術交流会	0	150,000	-150,000	
Cx 集い	0	200,000	-200,000	
小計	886,400	4,677,000	-3,790,600	
2. 普及事業	0	0	0	
3. 研究・支援事業	0	0	0	
技術委員会	0	65,000	-65,000	
小計	0	65,000	-65,000	
4. 基準制定事業				
東急電鉄Cx	7,300,000	10,109,000	-2,809,000	翌期まで工期延長
OCAT	5,183,006	8,638,344	-3,455,338	途中中止
小計	12,483,006	18,747,344	-6,264,338	
5. その他				
小計	0	0	0	
計	12,483,006	23,489,344	-11,006,338	
5 その他収益				
受取利息	383	1,000	-617	
雑収益	2,283,900	10,000	2,273,900	消費税還付・給付金
小計	2,284,283	11,000	2,273,283	
経常収益計	23,338,689	31,550,344	-8,211,655	

科目	2020年度予算執行状況		2020年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額		
II 経常費用					
1 事業費					
1. 人材育成事業					
CxPE研修会	264,467	1,485,500	-1,221,033		テキスト改修なし
CxTE研修会(東京ZOOM)	67,620	270,000	-202,380		
CxTE研修会(名古屋)	0	0	0		
CxTE研修会(西日本)	0	325,000	-325,000		
Cx事例シンポジウム(東京)	0	0	0		
Cx事例シンポジウム(関西)	439,600	510,000	-70,400		
国際Cxシンポジウム(京都)	0	0	0		
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	0	1,465,600	-1,465,600		
日中Cx共同研究	0	200,000	-200,000		
Cx研究会(中部)	0	10,000	-10,000		
外部共催シンポ	100,000	0	100,000		
マニュアルの頒布	58,866	30,000	28,866		
総会付帯講演会	0	60,000	-60,000		
技術交流会	0	230,000	-230,000		
Cx 集い	0	200,000	-200,000		
資格判定委員会	33,848	200,000	-166,152		
小計	964,401	4,986,100	-4,021,699		
2. 普及事業					
ホームページ	132,880	1,300,000	-1,167,120		本格改修翌期へ
コミッションングレターの発行	125,694	120,000	5,694		
空調調和・衛生工学会大会ブース出展	0	180,000	-180,000		
CxF登録制度小委員会	0	100,000	-100,000		
企画・運営委員会及び広報担当	50,000	260,000	-210,000		
小計	308,574	1,960,000	-1,651,426		
3. 研究・支援事業					
海外調査	0	200,000	-200,000		
技術委員会	0	400,000	-400,000		
小計	0	600,000	-600,000		
4. 基準制定事業					
東急電鉄Cx事業	5,205,320	8,592,650	-3,387,330		翌期まで工期延長
OCAI	4,519,012	7,342,592	-2,823,580		途中中止
事業委員会	1,042,610	50,000	992,610		プロジェクト成果発表対応
Cx費用ガイドライン検討WG	0	500,000	-500,000		
マニュアル校正	810,980	800,000	10,980		
小計	11,577,922	17,285,242	-5,707,320		
5. その他	0	100,000	-100,000		
事業費計	12,850,897	24,931,342	-12,080,445		

科目	2020年度予算執行	2020年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
2 管理費				
旅費交通費	6,135	500,000	-493,865	
通信運搬費	265,278	250,000	15,278	
消耗品費	60,564	300,000	-239,436	
什器備品	572,119	200,000	372,119	事務局PC、データ保管PC購入
会議費	0	450,000	-450,000	
印刷製本費	31,724	100,000	-68,276	
租税公課	0	700,000	-700,000	
支払手数料	57,303	57,830	-527	
雑給	0	0	0	
諸会費	84,875	100,000	-15,125	
家賃	402,600	402,600	0	
修繕費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
支払報酬	471,500	420,000	51,500	
事務外注費	4,150,830	4,147,000	3,830	
事務管理費	66,000	300,000	-234,000	
減価償却費	156,200	160,000	-3,800	
管理費計	6,325,128	8,087,430	-1,762,302	
経常費用計	19,176,025	33,018,772	-13,842,747	
I, II 当期経常増減額	4,162,664	-1,468,428	5,631,092	
III 経常外収益				
1 固定資産売却益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
IV 経常外費用				
1 過年度損益修正損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
III, IV 当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期正味財産増減額	4,162,664	-1,468,428		
法人税、住民税及び事業税	70,000	71,000		
当期正味財産増減額	4,092,664	-1,539,428		
前期繰越正味財産額	50,956,076	50,956,076		
次期繰越正味財産額	55,048,740	49,416,648		

重要な会計重要な方針

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産の減価償却方法：定率法によっております。

無形固定資産の減価償却方法：定額法によっております。

(2) 消費税等の処理方法

税込経理によっております。

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（貸借対照表）」）

2020年度 貸借対照表

建築設備コミッションング協会

2021年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		備 考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金及び預金	54,155,587		
売掛金／未収金	0		
棚卸資産	0		
貯蔵品	0		
前払費用	206,580		
仮払金	0		
流動資産合計		54,362,167	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	0		
減価償却累計額	0		
有形固定資産計		0	
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア等	611,784		
無形固定資産計		611,784	
(3) 投資その他の資産			
敷金	0		
保証金	180,000		
投資その他の資産計		180,000	
固定資産合計		791,784	
資産合計			55,153,951
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	4,268		
前受会費	10,000		
預り金	90,943		
仮受金	0		
流動負債合計		105,211	
2 固定負債			
	0		
固定負債合計		0	
負債合計			105,211
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		50,956,076	
税引後当期正味財産増減額		4,092,664	
正味財産合計			55,048,740
負債及び正味財産合計			55,153,951

2020年度 財産目録

建築設備コミッションング協会

2021年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		備 考
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	0		
三菱UFJ銀行普通預金	1,683		
三菱UFJ銀行普通預金	16,603,629		
ゆうちょ銀行普通預金	3,059,379		
三井住友銀行	4,755,841		
池田泉州銀行	29,735,055		
現預金計	54,155,587		
未収金			
売掛金/未収金	0		
貯蔵品	0		
棚卸資産			
未収金計	0		
前払費用	206,580		MATLABライセンス他
前払費用計	206,580		
仮払金	0		
仮払金計	0		
流動資産合計		54,362,167	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	0		
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェアなど	611,784		MATLAB
無形固定資産計	611,784		
(3) 投資その他の資産			
敷金	0		
保証金	180,000		ATC保証金
投資その他の資産計	180,000		
固定資産合計		791,784	
資産合計		55,153,951	
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,268		消耗品費
前受会費	10,000		
預り金			
源泉所得税預り金	90,943		
仮受金	0		
流動負債合計		105,211	
2. 固定負債			
	0		
固定負債合計		0	
負債合計		105,211	
正味財産		55,048,740	

5. 監査報告

2020年度の特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会の事業報告、活動予算書及び財産目録等について、関係書類と共にその内容を監査した結果、法令及び定款に照らして、適正であることを認めます。

2021年4月15日

監 事

高瀬 知章

高橋 直樹

第2号議案「第18期事業計画(案)及び 予算(案)に関する事項」

2021年度事業計画案(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

1. 事業実施の方針

2021年度は下記の活動を計画し、会員と社会に対してコミッショニングの意義を広め、かつ賛助会員組織に対してはコミッショニング事業を推進するための情報提供をすることで、社会に貢献する。

人材育成事業については、CxPE(性能検証技術者)資格研修会を東京で開催する。CxTE(性能検証専門技術者)講習会は例年通り東京・大阪で開催するとともに、一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構(IBECE)との共催で、機能性能試験方法1(FPT1)を適用した変流量二次ポンプシステムおよび可変風量方式空調システムの設計・試験方法に関する講習会を開催する。アジア太平洋地域における各国・各地域のCx技術とCx展開について情報を共有し、Cxの推進と普及を通じて社会に貢献することを目的に、5月に「Asia-Pacific Building Commissioning Symposium:アジア太平洋ビルCx国際シンポジウム(東京)」を実施する。関西と中部では種々のコミッショニング事例の発表シンポジウムを開催する。

性能検証普及事業については、当協会のホームページ構成を大幅に見直し、一般閲覧者と会員との情報提供範囲を区分し会員メリットが判りやすい仕組みを構築する。コミッショニング業務の展開を目指す会員に対し会員限定の情報提供(Cx文書事例、Cxツールなど)を行う。CxPE活動の活性化を目的として、CxPEとしての現在の活動の状況、今後の活躍の方向性等を意見交換するCxPEのフォーラムを東京・大阪2ヶ所で開催する。昨年に引き続き、公共部門や民間の建築オーナーに対して、省エネルギー・省CO₂にはコミッショニングプロセスが有効であることを説明し、コミッショニングのプロセスや技術に関するアドバイスを積極的に行う。コミッショニングレターの発刊、空気調和・衛生工学会大会へのブース出展など例年通りの活動も実施する。

調査研究及び技術支援事業については、引き続き海外調査・国際交流として、国際エネルギー機関(IEA)の研究活動・IEA/EBC Annex81の日本委員会に当協会から委員を派遣して参画し、適宜、情報を会員にもフィードバックする。技術委員会活動としては、例年通り、空気調和・衛生工学会のコミッショニング委員会と協調・連携してコミッショニングの普及展開に必要な技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し公開していく。

基準の制定及び検証事業については、コミッショニング業務の実例や経験を参考にして、2016年度に発行した「建築設備コミッショニングマニュアル」の改訂を新体制の委員会を結成して行うと共に、中堅・若手に向けてコミッショニングマニュアル編纂作業の継承を図る。当協会に特命依頼がある先導的コミッショニング業務の受託、並びに調査研究委託業務を引き続き実施し、それらの活動成果やノウハウをコミッショニングに関わる人材育成や実務資料の集成に反映し知的財産とする。

昨年度と同様、各理事の担当業務を明確にし、事業計画を理事が中心になり推進し、それを企画・運営委員会を通して実施するようガバナンス体制をより強固にする。

2. 事業実施計画に関する事項

特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(1) 人材育成事業	セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業				会員、市民、建築関係者	
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。					
	a)	CxPE 資格研修会	2021/12	東京	10名	10名
	b)	CxTE 講習（東京）	2021/7～10	東京	5名	20名
		CxTE 講習（大阪）	2021/10～11	大阪	5名	20名
	c)	認証検討委員会及び資格判定委員会活動	2021/4～2022/3	BSCA 事務所他	10名	—
	d)	国際シンポジウム	2021/11	東京	10名	80名
	e)	Cx 事例シンポジウム	2021/12	大阪	10名	80名
			2021/12	名古屋	10名	80名
	f)	Cx マニュアル（CD）の頒布	2021/4～2022/3	BSCA 事務所	3名	30名
g)	総会付帯講演会	2021/5/28	WEB	—	—	
h)	技術交流会	2021/5/28	中止	—	—	
i)	Cx に関心を持つ者の集い	2021/9/16	福島県福島市内	5名	40名	
(2) 性能検証普及事業	会誌・ホームページ等による性能検証普及事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。					
	a)	CxPE のフォーラム活動	2021/4～2022/3	事務局	4名	約100名
	b)	ホームページの整備充実	2021/4～2022/3	事務局	4名	約1000名
	c)	コミッションングレターの発行	2021/4～2022/3	事務局	7名	—
	d)	空気調和・衛生工学会大会ブース出展	2021/9/16～9/18	福島大学	3名	約100名
e)	企画・運営委員会活動	2021/4～2022/3	BSCA 事務所他	23名	—	
(3) 調査研究・技術支援事業	性能検証に関する調査研究及び技術支援事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。公共的機関より性能検証、コミッションング過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。					
	a)	海外調査・国際交流	2021/4～2022/3	BSCA 事務所他	1名	同上
	b)	技術委員会活動	2021/4～2022/3	東京	5名	建築関係者
c)	他団体との協働活動参画	2020/4～2021/3	東京	4名	建築関係者	

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(4) 基準制定・検証事業	性能検証基準の制定及び性能検証事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。					
	a)	建築設備コミッショニングマニュアル改訂委員会	2021/4～2022/3	Web 会議他		22 名
	b)	田園都市線駒沢大学駅リニューアル工事（実施設計）に伴う空調設備コミッショニング業務	2021/4～2022/3	東京・Web 会議他		6 名
c)	事業委員会活動	2021/4～2022/3	BSCA 事務所他	12 名		
(5) 共催・協賛事業		2021/4～2022/3			会員、市民、建築関係者、不特定	
他団体への共催、後援、協賛事業によりコミッショニングの普及を目指す。						

3. 活動計画の概要

非営利活動に関する活動計画の概要を述べる。

(1) 人材育成事業

a) CxPE（性能検証技術者）資格研修会

CxPE（性能検証技術者）資格研修会は 2021 年度については、東京での開催を検討する。

b) CxTE（性能検証専門技術者）講習

CxTE（性能検証専門技術者）講習会は、2020 年度に引き続き WEB 開催を計画する。

また、CxTE（アドバンスト）講習会として、IBEC との共催で VWV・VAV システムの調整法と機能性能試験に関する講習会を計画する。

c) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

CxPE（性能検証技術者）の資格判定委員会を実施する（予定）。

d) 国際シンポジウム(東京)

アジア太平洋地域における各国・各地域の Cx 技術と Cx 展開について情報を共有し、Cx の推進と普及を通じて社会に貢献することを目的に、「アジア太平洋 Cx 国際シンポジウム（東京）」を 2021 年 5 月 22 日に実施する。日本、中国、香港、米国からの講演及び参加を予定。

e) Cx 事例シンポジウム(関西・中部)

- ・ 関西では、当協会の Cx の受託プロジェクト、あるいは Cx 事業者が行った Cx プロジェクトの事例を紹介するシンポジウムを開催する。
- ・ 中部では、BSCA の活動内容や基本事項の整理の他、中小規模の建物に関する Cx プロセス導入のメリットを解りやすく解説し、Cx の普及促進に向けたシンポジウムを開催する。

f) Cx マニュアル（CD）の頒布

2020 年 10 月に発行した「建築設備コミッショニングマニュアル」の販売を継続する。また、マニュアルの大幅な改訂を実施する。

g) 総会付帯行事を兼ねた講演会（2021 年 5 月）

総会後に WEB 講演会を実施する。講演は、経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー課 課長補佐 鈴木 晋也氏、工学院大学 建築学部 建築学科教授 野部 達夫氏を企画している。

h) 技術交流会

新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑みて開催を中止する。

i) Cx に関心を持つ者の集い

空気調和・衛生工学会大会に合わせ「コミッショニングに関心を持つ者の集い」を開催し、会員の技術交流と会員増強の一助とする（予定）。

(2) 性能検証普及事業

a) CxPE のフォーラム活動

CxPE としての現在の活動の状況、今後の活躍の方向性等を意見交換し CxPE 活動の活性化を図ることを目的とした座談会を東京・大阪 2ヶ所で開催することを検討する。座談会の結果はコミッションングレターでの発信を行う。

b) ホームページの整備拡充

一般閲覧者の増大を目指して、コンテンツの拡充並びにホームページ構成のリニューアルを行う。リニューアルに伴い一般閲覧者と会員との情報提供範囲を明確にし、会員メリットが判りやすい仕組みを構築する。

c) コミッションングレターの発行

コミッションング関連の情報・動向を取材することに注力し、コミッションングレターを月 1 回の発行を継続する。Web 版レターの構成方法の変更（掲載可能画像数の増など）を検討する。また、CxPE 座談会（東京、大阪）の討議概要をコミッションングレターに掲載する。

d) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

空気調和・衛生工学会大会の開催方法にもよるが、現地開催となれば期間中に協会展示ブースを技術展示会場に出展し、広報活動を計画する。また、技術展示企業による発表会にて協会の活動内容を講演する。

e) 企画・運営委員会活動

1) 会員特典の整備

会員限定の情報提供（Cx 文書事例、Cx ツールなど）を検討する。

2) CxTE および CxF への登録の促進

Cx 事業の事例発表のシンポジウムなどで CxTE および CxF の登録制度を広く紹介して登録を働きかけ会員および賛助会員の増加を図る。

3) 各種団体へのコミッションングの普及活動

- ・ CxF（コミッションング事業者）が社会に定着することを目指し、各種団体にコミッションング業務を実施する CxF の重要性を理解して貰うとともに、CxF の登録を増やす活動を行う。
- ・ 公共部門や民間の建築オーナーに、省エネルギー・省 CO₂ 事業にコミッションングプロセスが有効であることを説明し、省エネルギー・省 CO₂ 事業の施策の策定や運用に対するアドバイスを積極的に行う。
- ・ 先導的コミッションングに関する調査・研究事業の受託を目指す。
- ・ 国や自治体によるコミッションングの政策課題に関連する調査に協力する。
- ・ 講習会やセミナーを企画して、コミッションングの普及活動を実施する。
- ・ コミッションング業務のビジネス展開を推進するため、経産省などと情報交換しながら業務のあり方・技術者の活用方法・技術者への報酬のあり方などについて、引き続き検討する。

(3) 調査研究・技術支援事業

a) 海外調査・国際交流

コミッショニングに関する国際会議への参加者や海外在住者による情報収集活動を支援する。

コミッショニングに関する国際会議（例えば、全米コミッショニング会議（NCBC）等）の開催案内や、それらの会議への参加者から報告をコミッショニングレターに掲載し会員へ情報提供する。海外のコミッショニング組織（NIST、BCA、HKBCxC(香港)、中国など）との連携活動を検討する。

国際エネルギー機関（IEA）の研究活動、IEA/EBC Annex81「Data-Driven Smart Building（データ駆動型スマートビルディング）」の日本委員会（委員長：東京大学・赤司泰義教授、当協会副理事長）に、当協会から委員を派遣して研究支援を図る。

b) 技術委員会活動

- ・ 空気調和・衛生工学会のコミッショニング委員会や小委員会の技術課題に対して、協調・連携してコミッショニングの普及展開に必要な技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し公開していく。
- ・ Cxに関する日中共同研究について中国のカウンターパートと議論し、企画立案を進める。

c) 他団体との協働活動参画

- ・ 昨年度までの3年間、国立研究開発法人建築研究所（建研）、一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構（IBEC）が企画・運営する「住宅・建築分野の省エネ・省CO₂・環境技術体系確立を目指す研究開発プロジェクト初期調整委員会（略称：初期調整委員会）」に、当委員会から、委員長として吉田理事長、他委員として3名（柳原副理事長、赤司副理事長、松下理事）が参画し、コミッショニング手法を適用した業務用建築物の省エネルギーの新たな評価手法の検討を行ってきた。本委員会は、昨年度で一旦終了したが、今年度から3年間延長することが決定し、引き続き当協会からは上記の4名が参画する。今後は、新評価手法の検討を継続して行うとともに、制度化に向けた議論を進めて行く予定である。

(4) 基準の制定・検証事業

a) 建築設備コミッシュンングマニュアル改訂委員会

2016年度に発行した「建築設備コミッシュンングマニュアル」の簡易改訂の中で挙げた「Cxの普及に向けてプロセスを整理して、より適切な解説にすべき」などの意見について、次世代を担う新任の編集委員の参画を求めて改訂第4版の編集作業を行う。

b) 田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッシュンング（実施設計フェーズ）

- ・ 委託機関：東急電鉄（株）
- ・ 事業実施：2021年4月～2021年6月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、松下直幹（幹事）、柳原隆司、山本雄二、西山 満、岡 敦郎

工期延伸された本プロジェクトにおいて、昨年度に引き続き、田園都市線駒沢大学駅リニューアル工事の実施設計レビューと施工フェーズのコミッシュンング業務を規定した「特記仕様書（Cx）」を作成する。また、駒沢大学駅リニューアル工事の実施設計と並行して行っている、他駅も含めた複数駅の建築設備を一元的に管理する“建築設備全駅統括監視システム（仮称）”の実施設計に向けた OPR の作成を行う。

c) 事業委員会活動

新たなコミッシュンング関連業務の開発に努力する。

(5) 共催・協賛事業

他団体への共催、後援、協賛事業により Cx の普及を目指す。

4. 活動予算

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

2020年度予算執行状況報告 築設備コミッションング協

2020年4月1日から2020年12月31日まで

(単位：円)

科目	2021年度予算案		2020年度予算		備考欄
	特定非営利活動事業		特定非営利活動事業	増減額	
I 経常収益					
1 受取会費					
入会金収入	50,000		50,000	0	
正会員受取会費	2,200,000		2,200,000	0	
賛助会員受取会費	5,600,000		5,800,000	-200,000	
小計	7,850,000		8,050,000	-200,000	
2 受取寄附金					
受取寄附金	0		0	0	
小計	0		0	0	
3 受取助成金等					
受取民間助成金	0		0	0	
小計	0		0	0	
4 事業収益					
1. 人材育成事業					
CxPE研修会	560,000		560,000	0	
CxTE研修会(東京・WEB)	650,000		365,000	285,000	
CxTE研修会(大阪)	560,000		377,000	183,000	
Cx事例シンポジウム(大阪)	720,000		600,000	120,000	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	0		2,215,000	-2,215,000	
Cx事例シンポジウム(中部)	380,000		10,000	370,000	
マニュアルの頒布	200,000		200,000	0	
技術交流会	150,000		150,000	0	
Cx 集い	200,000		200,000	0	
小計	3,420,000		4,677,000	-1,257,000	
2. 普及事業			0	0	
3. 研究・支援事業			0	0	
技術委員会	65,000		65,000	0	
小計	65,000		65,000	0	
4. 基準制定事業					
東急電鉄Cx	2,809,000		10,109,000	-7,300,000	
OCAT	0		8,638,344	-8,638,344	
小計	2,809,000		18,747,344	-15,938,344	
5. その他					
小計	0		0	0	
計	6,294,000		23,489,344	-17,195,344	
5 その他収益					
受取利息	1,000		1,000	0	
雑収益	10,000		10,000	0	
小計	11,000		11,000	0	
経常収益計	14,155,000		31,550,344	-17,395,344	

科 目	2021年度予算案		2020年度予算		備考欄
	特定非営利活動事業		特定非営利活動事業	増減額	
II 経常費用					
1 事業費					
1. 人材育成事業					
CxPE研修会	1,585,500		1,485,500	100,000	
CxTE研修会(東京・WEB)	68,000		270,000	-202,000	
CxTE研修会(西日本)	390,000		325,000	65,000	
Cx事例シンポジウム(関西)	590,000		510,000	80,000	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	500,000		1,465,600	-965,600	
日中Cx共同研究	200,000		200,000	0	
Cx研究会(中部)	310,000		10,000	300,000	
マニュアルの頒布	100,000		30,000	70,000	
総会付帯講演会	60,000		60,000	0	
技術交流会	230,000		230,000	0	
Cx集い	200,000		200,000	0	
資格判定委員会	390,000		200,000	190,000	
小計	4,623,500		4,986,100	-362,600	
2. 普及事業					
ホームページ	3,300,000		1,300,000	2,000,000	
コミッションングレターの発行	200,000		120,000	80,000	
空調和・衛生工学会大会ブース出展	180,000		180,000	0	
CxF登録制度小委員会	50,000		100,000	-50,000	
企画・運営委員会及び広報担当	180,000		260,000	-80,000	
小計	3,910,000		1,960,000	1,950,000	
3. 研究・支援事業					
海外調査	200,000		200,000	0	
技術委員会	400,000		400,000	0	
小計	600,000		600,000	0	
4. 基準制定事業					
東急電鉄Cx事業	3,387,330		8,592,650	-5,205,320	
OCAT	0		7,342,592	-7,342,592	
事業委員会	50,000		50,000	0	
Cx費用ガイドライン検討WG	0		500,000	-500,000	
マニュアル校正→改訂	800,000		800,000	0	
小計	4,237,330		17,285,242	-13,047,912	
5. その他	100,000		100,000	0	
事業費計	13,470,830		24,931,342	-11,460,512	

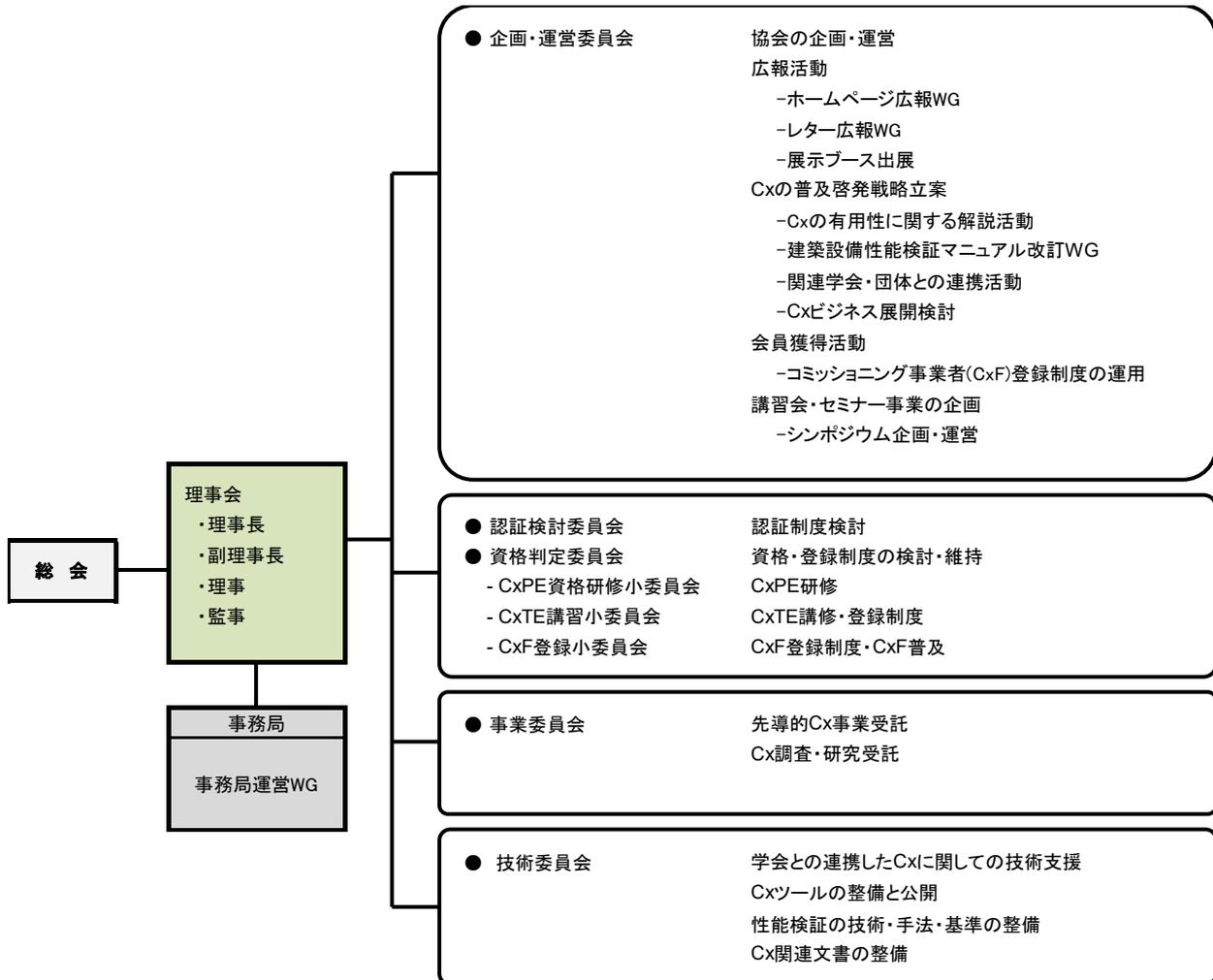
科目	2021年度予算案	2020年度予算		備考欄
	特定非営利活動事業	特定非営利活動事業	増減額	
2 管理費				
旅費交通費	250,000	500,000	-250,000	BSCAドライバーBox
通信運搬費	357,600	250,000	107,600	
消耗品費	200,000	300,000	-100,000	
什器備品	200,000	200,000	0	
会議費	200,000	450,000	-250,000	
印刷製本費	100,000	100,000	0	
租税公課	400,000	700,000	-300,000	
支払手数料	60,000	57,830	2,170	
雑給	0	0	0	
諸会費	100,000	100,000	0	
家賃	402,600	402,600	0	
修繕費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
支払報酬	420,000	420,000	0	
事務外注費	4,147,000	4,147,000	0	
事務管理費	300,000	300,000	0	
減価償却費	160,000	160,000	0	
管理費計	7,297,200	8,087,430	-790,230	
経常費用計	20,768,030	33,018,772	-12,250,742	
I, II 当期経常増減額	-6,613,030	-1,468,428	-5,144,602	
III 経常外収益				
1 固定資産売却益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
IV 経常外費用				
1 過年度損益修正損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
III, IV 当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期正味財産増減額	-6,613,030	-1,468,428		
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000		
当期正味財産増減額	-6,684,030	-1,539,428		
前期繰越正味財産額	55,048,740	50,956,076		
次期繰越正味財産額	48,364,710	49,416,648		

【3】報告事項

特になし。

参考

[組織図]



BS&A 特定非営利活動法人
建築設備コミッショニング協会
Building Services Commissioning Association

〒559-0034

大阪市住之江区南港北 2-1-10ATC/ITM 棟 11 階
Tel: 06-6614-0880 Fax: 06-6616-7098

URL: <http://www.bsca.or.jp/>